

しみんかいぎだより

令和6年9月 No22

毎日暑い日が続いておりますが、熱中症対策はいかがですか。

すでにご存知のとおり、岩見沢市は性の多様性を認め、令和5年2月から「岩見沢市パートナーシップ宣誓制度」を開始しております。また、令和6年4月からは、多くの方が利用しやすくなるよう、対象者の要件の拡大や記載内容の充実が図られています。道内の27市町がパートナーシップ宣誓制度を導入しており、転入出時の手続きを簡素化する目的でお互いの自治体間で連携を図るなど、輪が広がってきている状況です。

先日、性同一性障害と診断され、戸籍上は男性で、女性として社会生活を送る方が、これまで事実上手術を必要とされていた性別変更の要件を、手術を受けることなく戸籍上の性別の変更が裁判所により認められるという報道がありました。健康な体にメスを入れることや負担を強いられずに、生きづらさから解放される方が増えていくことは、誰もが自分らしく生きられる社会に近づきつつあり、嬉しいことですね。

いわみざわ男女共同参画プラン推進市民会議 代表 東海林 公子

男女共同参画市民フォーラムを開催しました！

テーマ：性別役割にとらわれない、家族の形について見つめ直そう！

日時：令和6年6月29日（土）午後1時30分

会場：岩見沢市自治体ネットワークセンター マルチメディアホール

講演：心地いい家族のカタチ～きっと毎日が楽しくなる～

講師：山田 亮 さん（家事ジャーナリスト）

今年は、妻は外で働き、夫は主に家事・育児を担当するライフスタイルを実践し、「スーパー主夫」の先駆者で、家事ジャーナリストとしてご活躍されている山田亮さんを講師にお招きしました。

主夫になった経緯や家事・育児を経験して感じた喜びや辛かったこと、日常生活で役立つ家事ポイントなどを楽しく、そしてわかりやすくお話されました。「対話」によって互いの違いや家事のズレを共有することで、より相手の考え方や気持ちを理解できるようになり、みんなで支え合い楽しく暮らせる心地いい家族のカタチを作っていけるのだと感じる講演でした。



フォーラム参加者の声

- ・話すことや褒めること、言葉の大切さを感じた。
- ・ズレは仕事面でも通じる話だと感じた。ズレをなくするための対話や共有することはとても大事だと再認識した。



第9回男女共同参画川柳コンテスト表彰式

市民フォーラムと同時開催で、第9回男女共同参画川柳コンテストの表彰式が行われました。入賞者には、賞状と副賞（図書カード）が贈られました。沢山のご応募ありがとうございました。

（応募総数 33名85作品）



おかげ様お互い様とグータッチ

金子 幸男 さん

■講評

お互いが労をねぎらい助け合って生きている社会で、素直に感謝の言葉を口に出せることは大変良いことです。最近はその気持ちや信頼感がグータッチという喜びの形で表現され微笑ましい形があちこちで見られます。グータッチを生かし男女共同参画社会に繋げた明るい雰囲気伝わる句です。

入選

（五十音順）

老いてなお「男女参画社会」を学び合う
川村 友枝 さん

■講評

男女共同参画社会の実現への考えも定着してきましたが、まだまだなところがあります。世代を超えてその必要性を常に理解することの大切さを伝えてくれています。

言う度に絆深まるありがとう
角田 悠生 さん

■講評

たったひと言の「ありがとう」で感謝の気持ちと相手への尊敬、敬意が表現され、信頼が深まります。そのことが男女共同参画社会の基本であり協力し合う社会の原点を捉えた句です。

性別欄無しの履歴書買ってみた
細井 ちよこ さん

■講評

選考面接で性別による差別はない時代です。今後はそういう意味で履歴書の性別欄は不必要となるかもしれません。性別欄のない用紙を探して作者は「買ってみた」とチクッと表現しています。

まず一步自分の偏見変えること
松村 さくら さん

■講評

男女共同参画社会が叫ばれて久しいです。その通りと賛成していても意外と自分のどこかに社会への偏見があることに気がついてないこともあります。標語に近いですが警告を表現する句です。

今変える社会の見方生きづらさ
三輪 康司 さん

■講評

社会において変えなければならない不合理が指摘されることが多々あります。男女共同参画社会について改めて見つめ直し変えていこうという作者の強い意気込みが伝わる句です。

※講評は、岩見沢文化連盟 岡 嘉彦 会長です。



〈左から松野市長、東海林代表、三輪さん、松村さん、細井さん、川村さん、金子さん、岩見沢文化連盟岡会長〉

毎年4月に作品募集をしています！
広報いわみざわや市オフィシャルウェブサイトをみてください！
たくさんのご応募お待ちしております！



男女共同参画週間啓発展示を行いました！

毎年6月23日から29日は男女共同参画週間です。啓発活動の一環として、市役所や市内商業施設で啓発展示を行い、啓発グッズも配布しました。また、岩見沢市立図書館と連携して6月4日から30日まで、男女共同参画に関する書籍を展示しました。



〈イオン岩見沢店〉



〈であえーる岩見沢〉



〈市立図書館〉



〈国のチラシ〉

令和6年度男女共同参画週間の国のキャッチフレーズは、「だれもがどれも選べる社会に」



LGBTやジェンダーについてなど様々な書籍を展示しました。子ども向けのわかりやすい書籍も沢山あります。貸出は、引き続き行っているのので、ぜひ足を運んでみてください！

■書籍紹介■



ワーク・ライフ・バランスについて考えてみませんか？



- 明日の私を助ける家事貯金「忙しい」をなくす少しの工夫 (leaf河内智美著・2018・KADOKAWA)

- 育休夫婦の幸せシフト制育児 (芳田みかん著・2022・オーバーラップ)



お知らせ

第16期男女共同参画ステップアップ講座

◆会場 生涯学習センターいわなび

第1回 「ストレスや困難はバネになる！自分らしさを取り戻して充実した人生へ」
講師 降幡 美冬さん（美冬キャリア 代表）
日時 令和6年10月8日（火） 18:30～20:00

日々の生活でストレスや不安を抱えて、モヤモヤしていませんか？落ち込みから素早く回復する力「レジリエンス」について学び、自分らしさとは何か一緒に考えてみませんか？

第2回 「女性活躍推進は誰のためのもの？～ジレンマを乗り越えるために～」
講師 福澤 由佳さん（ワーク・ライフ・バランス北海道 理事）
日時 令和6年10月29日（火） 18:30～20:00

仕事と家庭、子育ての両立について悩んでいませんか？子育てや復職、両立の経験談を聞き、誰もが働きやすい職場環境づくりを一緒に考えてみませんか？

※詳しくは、市ホームページや広報、チラシをご覧ください。

いわみざわ男女共同参画プラン推進市民会議

いわみざわ男女共同参画プラン推進市民会議では、誰もが自分らしく生きられる男女共同参画社会の実現を目指して活動しています！

様々なイベントの開催や情報誌を発行し、みんなで楽しく活動しています！

会員と実行委員を大募集しています！会員登録は無料で、イベントのお知らせなどを送付しています。お気軽にお問合せください！



川柳コンテスト
毎年4月に募集！



市民フォーラム
知識を深める！



ステップアップ講座
講師の先生と楽しく！



パープルリボンプロジェクト
毎年11月に実施！



展示啓発
ポスター展示やグッズを配布！



情報誌発行
毎年3月に発行！

■あしがき

足を運んでくださる方がいらっしゃるの、行事は成り立っております。今回の市民フォーラムのテーマは、「性別役割にとらわれない、家族の形について見つめ直そう！」。スーパー主婦の山田亮さんの優しい語りかけは、聞く人の心を優しくしました。好意的な意見が多い中、ひとり親家庭はどっちの役割も一人でこなさなければならず…という意見もありました。その人の境遇、背景で感じ方はさまざま。それぞれの家族にとって心地いいカタチに近づけますように。

■事務局

☆岩見沢市役所

市民環境部 市民連携室 男女共同参画担当

〒068-8686 岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号

TEL：0126-35-4271（直通）

FAX：0126-23-9977

E-mail：danjo@city.iwamizawa.lg.jp

こちらまでお気軽に
お問い合わせください。

